

☆☆ピルの説明☆☆

ピルには以下の3種類があります。

- 1, 中用量ピル (プラノバルなど)
- 2, 低用量ピル (アンジュ、トリキュラー、マーベロン、ラベルフィーユ、ファゴアール)
- 3, 超低用量ピル (ヤーズ、ヤーズフレックス、ルナベル ULD)

ピルには E (エストロゲン、卵胞ホルモン)

P (プロゲステロン、黄体ホルモン) の2種類のホルモンが含まれています。

エストロゲンは長期間の使用や、大量の使用で血栓や乳癌のリスクがあるため、エストロゲンの量をできるだけ減らそうと、低用量ピル、超低用量ピルが開発されてきました。

中用量ピル→月経が来ないときに月経を起こす (保険)

旅行のために月経を調整する (自費)

低用量ピル→主に避妊目的 (自費)

超低用量ピルが発売される前は、月経困難症の薬として使用されていた。

超低用量ピル→月経困難症、子宮内膜症、月経前症候群などに著効 (保険)

海外では避妊薬として使用されているが、日本では避妊の適応はない。

有効成分が薄いため、低用量ピルより不正出血が起こりやすい。

毎日、同時刻に内服することが重要。

ここ数年、保険診療で使用できる、より安全な超低用量ピルが開発されたため、月経痛で悩む中高生にも処方しやすくなりました。

保健の先生から勧められて受診する中高生や、受験の前に月経を楽にしたいと受診する中高生もたくさんいます。

エストロゲンが入っている薬は多かれ少なかれ血栓症のリスクがあるので、ふくらはぎの痛み (片脚)、脚の色の変化、呼吸苦、胸痛などがある場合は、すぐにクリニックに連絡するか、近くの病院を受診してください。
採血とエコーで血栓の有無を調べ、すぐに治療することができます。

ピルは生活改善薬ともいわれており、女性の生活の質を向上させるとても有用な薬です。
ぜひピルを上手に使って、快適な生活を送ってほしいと思っています。